

H29年産米 圃場ごとの格差が大きい！

<稲作状況>

しんせい管内において早い地区では稲刈り作業が開始されております。

今年は、現在まで日照不足等の影響もあり登熟が緩慢になっており、JAで定点の生育調査や坪刈り状況を見ると青未熟粒が多く、今後の天候も関係しますが急激に登熟が進むとは考えにくい状況となっております。

また、収量については個人差や圃場差が非常に大きくなっておりますので、刈取り前に圃場の状況確認を行うようにして下さい。

現在、共済組合では損害評価を実施中ですので、稲が減収しそうな場合は、刈取り前に共済組合へご相談下さい。